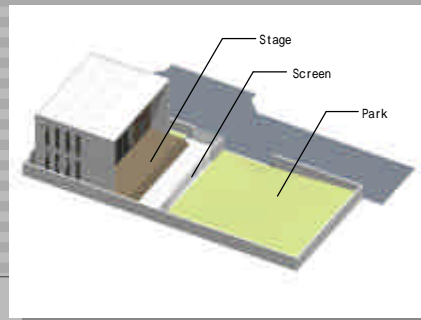


# 家・style 設計コンペ マイタウンウェディング ~結婚式のできる住宅~



ウェディングを出発点とする新しいまちづくりを考えたとき、さまざまなものを結び合わせる装置として住宅を位置づけようと考えました。  
近隣と住人、公園と住宅、2階と1階、庭と住空間・・・  
これらがさまざまな結節装置を媒介し持ち結びつくことで、居住空間とまちの関係がより豊かなものになるのではないかと考えます。



## ウェディング空間

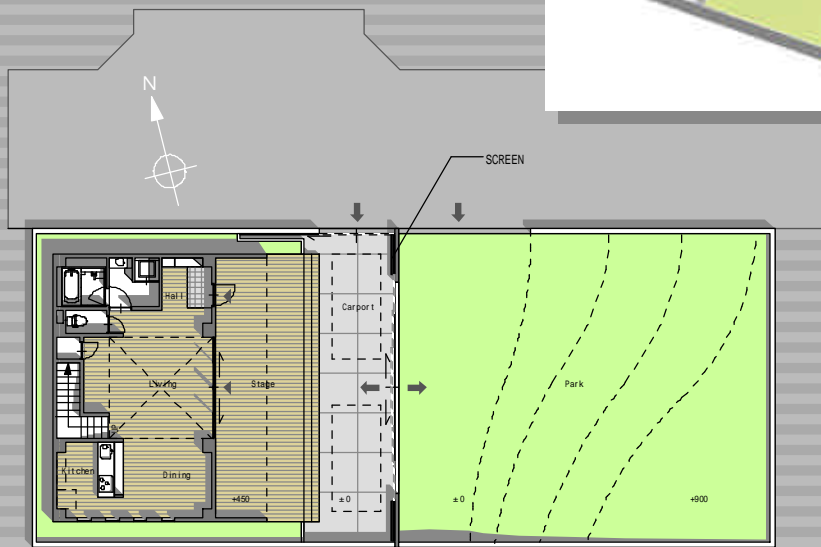
公園と公園に向けて開かれたステージが一体となり、ウェディング会場を創出します。  
ステージはデッキと壁、張り出した屋根から構成されます。  
デッキの高さを450とし3段分持ち上げることで、他の空間との意識的境界をつくり、段を上る行為そのものにセレモニーの意味をもたせました。  
屋根と壁により構成された囲い空間は、ウェディング会場において舞台装置として機能します。  
公園には緩やかなマウンドをあたる、芝生のスタンドとなります。

## パーティー空間

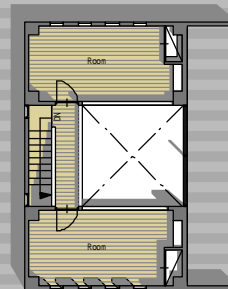
披露宴として行われるパーティー空間として住宅が使われます。  
ホールとリビング、そして2つの部屋を吹抜空間でつなぐことで一体的に使えるようになり、大勢の来客が楽しむことが可能です。  
リビングの窓を開放することによりデッキと一体的につながり、オープンカフェテラスのような会場となります。

## 生活空間

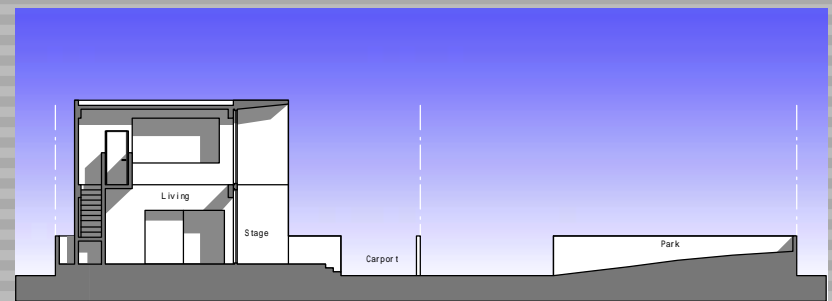
セレモニー空間を形成していた壁と屋根からなる3方の囲いにより、リビングスペースを通りの視線からやさしくささぎります。  
ウェディング時には公園と一体となっていたが、生活時には可動スクリーンが公園と住空間を分節します。  
可動スクリーンは半透明であるため、プライバシーを確保しつつも公園で遊ぶ子供たちの声や気配を住空間に伝えます。  
パーティー会場で一体空間の結節装置となっていた吹抜は、家族の結節装置として機能します。  
ステージとしてマウンドアップされた公園は子供たちの遊び場となります。



1st Floor Plan S = 1:100



2nd Floor Plan S = 1:100



Section S = 1:100